



延岡城は特別

国文祭で「お城の魅力語る」

城好きで知られる落語家の春風亭昇太さんと、奈良大学教授で城郭考古学の第一人者・千田嘉博さんのトークショー「お城の魅力語る」が7日、延岡市の延岡総合文化センターであった。

市制施行100周年を迎える2032年度

の完成を目指し昨年度から始まった市史編纂の記念事業で、国文祭・芸文祭みやさき2020分野別フェスティバルと「お城の魅力語る」が7日、延岡市の延岡総合文化センターの一角で開かれた。

「奥さんよりも付き合いが長い（昇太さん）という二人、テン

近い方の肩が少しだけ内側に曲がっていることを指摘。名古屋城も同じ特徴が見られるとして「江戸時代の早い段階に築いていたことが見えてくる。（櫓の方を少し内側に入れることで）地面に対して、寝かした状態で石垣が積める。超合理的。こ

ねた石垣は特復して面白い。これから整備が進むと思うが、もっとそういうところが見えてくればと期待。

「城はそのまのランドマーク」として「見えない」と意味がないし、木が生えたと石垣を傷めてしまつ。なるべく早い整備が大事。

千田さんはすべての樹木を伐採することはできないとして「貴重な石垣と樹木をうまく両立し、いつまでも素晴らしい城跡が残り、活用されていけば」と話した。

最後に昇太さんは「今は住む場所にかかわらず何でも手に入る時代だが、他の県と違うのは土地の歴史。歴史を知ることが土地にもつながる」と呼び掛け「大人が自分の町を自慢しないと、延岡を好きになつてくれない。まずは皆さんが延岡のことを好きになつて、子どもの前で自慢をする。そのすくしい材料として延岡城があるんじゃないか」とまとめた。

対談を前に、昇太さんの「好意」として、自身が司会を務める人気テレビ番組「笑点」の裏話も披露され、会場には何度も大きな笑い声が響いた。また、延岡の落語愛好家が構成された「八会」主催の寄席に呼ばれ何度か来延したこと、今年1月に他界した本田誠人さんらによる「ベテカン」の東京公演に役者として出演したエピソードも紹介した。

また、後藤勇吉の石碑が立つ三階やくら跡では、柱を支えていたと推測できる縦長の大きな石が地面から顔を出しているのを興味津々に見詰め「よく残っている。素晴らしい笑顔。園内には、岩盤を削って石垣のように仕立てた場所や岩盤を削った階段、さまざまな刻印のある石垣などもあり、城が大好きという昇太さんは、何度もシャッターを切っていた。

「午後、時の鐘を聞き、足を止めては興味深そうに見入り、今もある城の名残をカメラに収めた。

千田さんは、園内に石敷きとアスファルトの面が混合していることに注目「史跡には通常アスファルトは使わない。アスファルトにするのであれば黒っぽい色にする必要がある」と指摘。また、落下防止のために手すりや設置されている場所には、城の遺構が多く残っているにもかかわらず、深く掘って手すりが設置されたと考えられることから「都市公園化している。本来するべき所を壊さずにと守るのか。そこを解決すべき」と話していた。

素晴らしい石垣が24時間見放題 樹木とうまく両立させ、活用して——千田さん



息の合ったトークショーで城への愛を語った春風亭昇太さん(右)と千田嘉博さん(7日夜、延岡総合文化センター)



延岡城跡の案内板をのぞき込む千田さん。右は案内した甲斐典明さん



延岡城の遺構にシャッターを切る昇太さん(左)

場を沸かせた。千田さんは、天守とされる部分には瓦が使われ白いつくいで造られていたとして、「超最先端の城郭。県内にも同時代に他に城はあったが延岡城は特別」と紹介した。

また、北大手門から見える石垣は、地面に

残っているのは匠たくみのすくい技術があったからではないか」と話した。

延岡城について印象を聞かれた昇太さんは「こんなに高い石垣のある城はそんないないし、もともとある岩盤と築いた石垣を組み合

を自慢しないと、延岡を好きになつてくれない。まずは皆さんが延岡のことを好きになつて、子どもの前で自慢をする。そのすくしい材料として延岡城があるんじゃないか」とまとめた。

対談を前に、昇太さんの「好意」として、自身が司会を務める人気テレビ番組「笑点」の裏話も披露され、会場には何度も大きな笑い声が響いた。また、延岡の落語愛好家が構成された「八会」主催の寄席に呼ばれ何度か来延したこと、今年1月に他界した本田誠人さんらによる「ベテカン」の東京公演に役者として出演したエピソードも紹介した。

また、後藤勇吉の石碑が立つ三階やくら跡では、柱を支えていたと推測できる縦長の大きな石が地面から顔を出しているのを興味津々に見詰め「よく残っている。素晴らしい笑顔。園内には、岩盤を削って石垣のように仕立てた場所や岩盤を削った階段、さまざまな刻印のある石垣などもあり、城が大好きという昇太さんは、何度もシャッターを切っていた。

また、後藤勇吉の石碑が立つ三階やくら跡では、柱を支えていたと推測できる縦長の大きな石が地面から顔を出しているのを興味津々に見詰め「よく残っている。素晴らしい笑顔。園内には、岩盤を削って石垣のように仕立てた場所や岩盤を削った階段、さまざまな刻印のある石垣などもあり、城が大好きという昇太さんは、何度もシャッターを切っていた。

また、後藤勇吉の石碑が立つ三階やくら跡では、柱を支えていたと推測できる縦長の大きな石が地面から顔を出しているのを興味津々に見詰め「よく残っている。素晴らしい笑顔。園内には、岩盤を削って石垣のように仕立てた場所や岩盤を削った階段、さまざまな刻印のある石垣などもあり、城が大好きという昇太さんは、何度もシャッターを切っていた。



園内を視察する昇太さんと千田さん(7日午後、城山公園)